

2月度学術講演会

日	時	令和5年2月18日（土）午後2時
演	題	冠動脈疾患における生活習慣病管理のツボ～尿酸値管理を含めて
講	師	大阪赤十字病院 循環器内科 副部長 林 富士男 先生
出	席	者 数 19名
担	当	富永良子
共	催	持田製薬株式会社

冠動脈疾患、特に安定狭心症と呼ばれている症例の中にも心血管イベントを繰り返す症例が存在し、決して「安定」した病態とは言えないことから、近年欧米中心に慢性冠症候群（Chronic Coronary Syndrome）と呼ぶことが提唱されている。長期経過の安定に関わる重要な要素として、十分な薬物治療と生活習慣の是正による危険因子の管理が挙げられる。今回の講演では、1冠動脈疾患の診断、2冠動脈疾患の治療、3冠動脈疾患の生活習慣管理、4尿酸と冠動脈疾患といった内容で、それぞれの診療ポイントを概説した。まず1診断では、胸痛の診断の進め方につき、検査前確率および臨床的尤度を加味した検査計画の立て方を解説。また第一選択としてCTが選ばれているが、FFRCTによる血流解析が可能となり、偽陽性所見による、いわゆる不要なカテーテル検査の減少につき報告した。2治療ではPCIに関連するトピックスを取り上げ、現代のPCIの成績が向上している現状を報告。また薬物治療についてもスタチンおよび抗血栓薬の考え方に触れた。3生活習慣管理に関しては、禁煙および体重コントロールの難しさとその継続の重要性を再確認し、当院連携パスを用いた術後管理法を紹介した。4尿酸と冠動脈疾患では、尿酸と心血管病の関連につきデータよりイベント発生のマーカーとなることを示した。しかしながら尿酸生成抑制薬での介入では、有用な成績が得られていないことを報告。作用機序や少数例での報告ではあるが、尿酸排泄促進薬に期待が持たれており、今後のデータの蓄積が待たれる。